

臨床研究に関するお知らせ

局所麻酔下胸腔鏡における新規胸腔鏡ファイバーの有用性に関して;後方視的観察研究

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院 呼吸器内科では以下にご説明する研究を行います。この研究への参加を希望されない場合には、研究不参加とさせていただきますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはございませんのでご安心ください。

■研究の目的・方法

2008年3月から2016年11月末まで細径胸腔ビデオスコープ(LTF-240,Olympus,Tokyo,Japan)を使用しており2016年12月から2019年3月末までLTF-Y0032(Olympus)を胸腔内の観察に使用しています。LTF-240とLTF-Y0032を使用した症例を比較し、診断率・合併症に関して後方視的の解析を行います。

■研究の対象となる方

2008年3月1日～2019年3月末までに当院にて局所麻酔下胸腔鏡検査を施行された患者様。

■ご協力頂く内容

上記の対象期間中に診療録に記録された診療情報・胸腔鏡所見等を、観察研究に使用させていただきます。使用に際しては、政府が定めた倫理指針に則って個人情報や厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。新たにご負担いただくことはありません。

■研究計画書等の入手・閲覧方法・手続き・手続きにかかる手数料等

あなたのご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■利益相反について

オリンパス株式会社より2016年12月から2019年3月末まで胸腔鏡ファイバー(LTF-Y0032)を無償で借用していました。金銭の利益相反に該当する事実はありません。

■当院の研究責任者

国立国際医療研究センター 呼吸器内科 石井聡

研究へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

問い合わせ先

国立国際医療研究センター病院 呼吸器内科 渡邊博、石井聡

TEL:03-3202-7181(代)、FAX:03-3207-1038